

注3

大学番号：私290

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

関西外国語大学 英語キャリア学部 英語キャリア学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 関西外国語大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局

職名・氏名 事務局長・吉崎 誠

電話番号 072-805-2801

（夜間） 072-805-2801

F A X 072-805-2862

e-mail ymakoto@kansaiuidai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

英語キャリア学部

<英語キャリア学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	17
7. その他全般的事項	19
8. 資料	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 関西外国語大学

(2) 大学名

関西外国語大学

(3) 大学の位置

〒573-1001
大阪府枚方市中宮東之町16-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タニモト エイコ) 谷本 榮子 (平成20年10月)		
学長	(タニモト ヨシタカ) 谷本 義高 (平成19年4月)		
学部長			
学科長等	(オカダ ノブオ) 岡田 伸夫 (平成23年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
英語キャリア学部 英語キャリア学科 学士(英語キャリア)	4年	120人	— 年次人	480人	
英語キャリア学科 小学校教員コース 学士(教育)	4	30	—	120	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

対象年度 区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120 () []	— () []	120 () []	— () []	120 () []	— () []	120 () []	— () []	1.11倍	
志願者数	2,039 () []	— () []	1,946 () []	— () []	2,097 () []	— () []	2,239 () []	— () []		
受験者数	2,023 () []	— () []	1,930 () []	— () []	2,082 () []	— () []	2,217 () []	— () []		
合格者数	270 () []	— () []	292 () []	— () []	312 () []	— () []	297 () []	— () []		
B 入学者数	124 () []	— () []	128 () []	— () []	150 () []	— () []	133 () []	— () []		
入学定員超過率 B/A	1.03		1.06		1.25		1.10			

<英語キャリア学部 英語キャリア学科小学校教員コース>

対象年度 区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30 () []	— () []	30 () []	— () []	30 () []	— () []	30 () []	— () []	1.12倍	
志願者数	357 () []	— () []	296 () []	— () []	268 () []	— () []	354 () []	— () []		
受験者数	349 () []	— () []	291 () []	— () []	262 () []	— () []	350 () []	— () []		
合格者数	88 () []	— () []	88 () []	— () []	100 () []	— () []	78 () []	— () []		
B 入学者数	29 () []	— () []	35 () []	— () []	40 () []	— () []	31 () []	— () []		
入学定員超過率 B/A	0.96		1.16		1.33		1.03			

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

学年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 124	[-] (-) -	[-] (4) 132	[-] (-) -	[-] (3) 153	[-] (-) -	[-] (1) 134	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) 110	[-] (-) -	[-] (6) 127	[-] (-) -	[-] (1) 146	[-] (-) -	
3年次			/		[-] (-) 103	[-] (-) -	[-] (7) 127	[-] (-) -	
4年次	/				[-] (-) 98	[-] (-) -			
計			[-] (-) 124	[-] (-) -	[-] (4) 242	[-] (-) -	[-] (9) 383	[-] (-) -	[-] (9) 505

<英語キャリア学部 英語キャリア学科小学校教員コース>

学年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 29	[-] (-) -	[-] (2) 37	[-] (-) -	[-] (-) 40	[-] (-) -	[-] (-) 31	[-] (-) -	
2年次	/		[-] (-) 26	[-] (-) -	[-] (1) 33	[-] (-) -	[-] (-) 38	[-] (-) -	
3年次			/		[-] (-) 26	[-] (-) -	[-] (-) 32	[-] (-) -	
4年次	/				[-] (-) 26	[-] (-) -			
計			[-] (-) 29	[-] (-) -	[-] (2) 63	[-] (-) -	[-] (1) 99	[-] (-) -	[-] (1) 127

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	124 人	19 人	平成25年度	10 人	- 人	他の教育機関への入学(5人)、経済的(3人)、学生個人の心身に関する事情(2人)	15.3 %
			平成26年度	5 人	- 人		
			平成27年度	4 人	- 人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	128 人	7 人	平成26年度	4 人	- 人	他の教育機関への入学(4人)	5.5 %
			平成27年度	3 人	- 人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	150 人	4 人	平成27年度	4 人	- 人	他の教育機関への入学(3人)、学力不足(1人)	2.7 %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	133 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
合 計	535 人	30 人					5.6 %

<英語キャリア学部 英語キャリア学科小学校教員コース>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	29 人	2 人	平成25年度	1 人	- 人	就学意欲の低下(1人)	6.9 %
			平成26年度	1 人	- 人		
			平成27年度	0 人	- 人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	35 人	4 人	平成26年度	3 人	- 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)	11.4 %
			平成27年度	1 人	- 人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	40 人	2 人	平成27年度	2 人	- 人	他の教育機関への入学(2人)	5.0 %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	31 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
合 計	135 人	8 人					5.9 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門複合科目	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I)	1前	2			1	0	1	0	1	3	専任教員3名の雇用契約期間満了(退職)に伴い、既設学部から転籍により専任教員3名を補充。(28) 「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。新たに専任教員1名を採用。(28) 平成25年4月よりアドレツス ステラツカ兼任(講師)を専任(講師)へ変更 平成25年1月 AC教員審査済(25) 判定 可			
	LgD:Reading & Writing II (Global Issues II)	1後	2			1	0	1	0	1	3				
	LgD:Speaking & Listening I (Groups within Societies)	1前	2			1	2	1	1				兼1		
	LgD:Speaking & Listening II (Conflicts within Societies)	1後	2			1	2	1	1				兼1		
	LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences)	2前	2			1	0			1	2		兼1 0		
	LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	2後	2			1	0			1	2		兼1 0		
	LgD:Academic English (Cultural Perspectives)	2前	2					2	1	1					
	LgD:Analytical Thinking (Cultural Reflections)	2後	2					2	1	1					
	LgD:Introduction to Academic English	1前		2									兼1		
	LgD:Reading Comprehension	2後		2									兼1		
	アカデミック・リーディングⅠ	1前		2		1	4	3				1			
	アカデミック・リーディングⅡ	1後		2		1	4	3				1			
	アカデミック・リーディングⅢ	2前		2		2	1	4	3			1	兼1		
	アカデミック・リーディングⅣ	2後		2		2	1	4	3			1	兼1		
	ゼミナールⅠ	2前		2		2	1	4	3			1	兼1		
	ゼミナールⅡ	2後		2		2	1	4	3			1	兼1		
	言語基礎論	1前		4		1								兼1	
	キャリア・デザイン	1後		2							1				
	キャリア形成A	2前		2										兼1	
	キャリア形成B	2後		2										兼1	
	英語ビジネス・プリビューA	1後		4										兼1	
	英語ビジネス・プリビューB	1後		4										兼1	
	英語ビジネス・プリビューC	2後		4										兼1	
	英語ビジネス・プリビューD	2後		4										兼1	
	英語ビジネス・コミュニケーション	3・4前		4					1						
	英語ビジネス・プレゼンテーション	3・4後		2					1						
英語学複合研究	4後		4			1	0						兼1		
英語教育学複合研究	4後		4			1	0						兼1		
英語文学複合研究	4後		4			1	0						兼1		
グローバル・ビジネス複合研究	4後		4					2							
国際教養複合研究	4後		4			1	1								
英語キャリア卒業研究Ⅰ	4前		2			6	5	6	1	1			専任教員1名の退職に伴い、既設学部から転籍により専任教員1名を補充。(28) 「改善意見」を踏まえ、専任教員3名を既設学部へ転籍。既設学部から転籍により専任教員2名を補充。新たに専任教員1名を採用。(28)		
英語キャリア卒業研究Ⅱ	4後		2			6	5	6	1	1			専任教員1名の退職に伴い、既設学部から転籍により専任教員1名を補充。(28) 「改善意見」を踏まえ、専任教員3名を既設学部へ転籍。既設学部から転籍により専任教員2名を補充。新たに専任教員1名を採用。(28)		
専門研究科目	英語学概論	1後	4			1	0	1					兼1	「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。既設学部から転籍により専任教員1名を補充。(28) 兼任教員1名の退職に伴い、兼任教員2名を補充。(28) 教育効果を高めるため、兼任教員による「英語」の授業が追加開講(26)	
	現代英文法	1後		4		1									
	英語学研究A	2前		4		1									
	英語学研究B	2後		4									兼1		
	英語教育学	2後		4		1									
	応用言語学	3・4前		4		1									
	英語科教育法Ⅰ	2前		4									兼1 2		
	英語科教育法Ⅱ	2後		4									兼1		
	英語科教育法	3・4前		4		1									
	英語文学概論	2後		4		1									
	英語文学作品研究	3・4前		4		1									
	英語演習A	1前		4											兼1
	英語演習B	1後		4											兼1
	日本語学概論	2前		4											兼1
	日本語学Ⅰ	2前		4											兼1
	日本語学Ⅱ	2後		4											兼1
日本語教育法Ⅰ	3・4前		4										兼2 オムニバス		
日本語教育法Ⅱ	3・4後		4										兼2 オムニバス		
日本学A	2前		4										兼1 2		
日本学B	2後		4										兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門研究科目	ミクロ経済学	1後		4		1	1					
	マクロ経済学	2前		4		1	1					
	イントロダクション経済学	1前		2							兼2	オムニス
	経営学概論	1前		4			1					
	会計学Ⅰ	1後		4			1					
	会計学Ⅱ	2前		4			1					
	ビジネス統計	1後		2							兼1	
	ビジネス数学	1前		2			1					
	金融論	2後		4		1						
	マーケティング論	2前		4			1					
	ファイナンス	3・4前		4		1						
	国際経済学	3・4後		4							兼1	
	国際経営論	3・4前		4							兼1	
	流通システム論	3・4後		4			1					
	国際関係論Ⅰ	1前		4			4	0		1	兼1	専任教員1名の退職に伴い、既設学部から転籍により専任教員1名を補充。(28)
	国際関係論Ⅱ	1後		4			4	0		1	兼1	
	情報システム概論	1前		2							兼1	
	地域研究A(欧米)	2前		4		1					兼1	教育効果を高めるため、兼任教員によるオムニ英語の授業が追加開講。(28)
	地域研究B(アジア)	2前		4							兼1	
	異文化と歴史A	1後		4							兼1	
	異文化と歴史B	1前		4							兼1	
	国際開発論	2後		4							兼1	
	社会学	2前		4			1					
	比較社会学	2後		4			1					
	国際機構論	3・4前		4							兼1	
	比較文化研究	3・4後		4							兼1 2 1	教育効果を高めるため、兼任教員によるオムニ英語の授業が追加開講。(26) 兼任教員退職のため(27)
	国際労働関係法	3・4前		4		1						
	航空概論	3・4後		4		1						
	エアポート論	3・4前		4							兼1	
	ホテル学	3・4後		4							兼1	
	ホスピタリティ	3・4前		4		1						
	ツーリズム	3・4後		4		1						
	海外事情研究A	1-2-3-4		4							※1	
	海外事情研究B	1-2-3-4		4							※1	
	海外事情研究C	1-2-3-4		4							※1	
	海外事情研究D	1-2-3-4		4							※1	
	海外事情研究E	1-2-3-4		4							※1	
	異文化マネジメントA	2-3-4		4							※1	
	異文化マネジメントB	2-3-4		4							※1	
	異文化マネジメントC	2-3-4		4							※1	
	異文化マネジメントD	2-3-4		4							※1	
	異文化マネジメントE	2-3-4		4							※1	
	英語学研究C	3-4		4							※1	
	英語学研究D	3-4		4							※1	
	英語学研究E	3-4		4							※1	
英語学研究F	3-4		4							※1		
英語学研究G	3-4		4							※1		
英語学研究H	3-4		2							※1		
英語学研究I	3-4		2							※1		
英語教育学研究A	3-4		4							※1		
英語教育学研究B	3-4		4							※1		
英語教育学研究C	3-4		4							※1		
英語教育学研究D	3-4		4							※1		
英語教育学研究E	3-4		4							※1		
英語文学研究A	3-4		4							※1		
英語文学研究B	3-4		4							※1		
英語文学研究C	3-4		4							※1		
英語文学研究D	3-4		4							※1		
英語文学研究E	3-4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究A	3-4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究B	3-4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究C	3-4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究D	3-4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究E	3-4		4							※1		
国際教養研究A	3-4		4							※1		
国際教養研究B	3-4		4							※1		
国際教養研究C	3-4		4							※1		
国際教養研究D	3-4		4							※1		
国際教養研究E	3-4		4							※1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置						備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門初等教育科目	教職概論(小)	1前		2			1							
	教育基礎論(小)	1前		2							兼1			
	教育心理学(小)	1前		2				1						
	教育制度概論(小)	2前		2							兼1			
	教育課程の意義と編成(小)	2前		1							兼1			
	道徳教育の理論と実践(小)	1後		2			1							
	特別活動の理論と実践(小)	3前		2							兼1			
	教育方法の理論と実践(小)	3前		2			1	1				主ノリス		
	生徒指導論(小)	3前		2			1							
	教育相談(小)	2後		2							1			
	教育実習(小)	3後		5			1	1	1					
	教職実践演習(小)	4後		2			1	1						
	国語	1前		2			1							
	社会	2前		2			1							
	算数	1前		2			1					兼1	「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。新たに専任教員1名を採用。(28)	
	理科	2前		2			+	0				兼1	「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。(28)	
	生活	2前		2						1				
	音楽	2前		2			1					兼1	「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。新たに専任教員1名を採用。(28)	
	音楽実技演習A	3前		2			1					兼1		
	音楽実技演習B	3後		2			+	0				兼1		
	図画工作	1前		2								兼1		
	家庭	3前		2								兼1		
	体育	3前		2						1				
	国語科指導法	1後		2								兼+	1	教育効果を高めるため、兼任教員による授業が追加開講(26) 兼任教員1名が退職のため。(28)
	社会科指導法	2後		2			+	0				兼1	「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。(28)	
	算数科指導法	1後		2								兼2		
	理科指導法	2後		2								兼1		
	生活科指導法	2後		2						1				
	音楽科指導法	2後		2			+	0				兼+	2	「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。(28)
	図画工作科指導法	1後		2								兼1		
	家庭科指導法	3後		2								兼1		
	体育科指導法	3後		2								兼1		
	学校教育基礎論	1後		2						1				
	グローバル教育論	1後		2								兼+	2	教育効果を高めるため、兼任教員による授業が追加開講(27)
小学校英語教育実践	3前		2				1							
安全・安心な学校生活の形成	2前		2				1							
渡日外国人児童教育	3後		2				1							
教育史	1前		2								兼1			
教育哲学	1後		2				1							
教育方法学	2後		2				1	1				教育効果を高めるため、専任教員による授業が追加開講。(28)		
教育行政学	2後		2					1						
学校・学級マネジメント	2前		2				1				兼1	「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。新たに専任教員1名を採用。(28)		
教育法規	2後		2				1				兼1			
道徳教育実践研究	3前		2				1							
教育心理学研究	3後		2							1				
教育学演習A	3前		2							1				
教育学演習B	3後		2							1				
教育学演習C	3前		2				1							
教育学演習D	3後		2				1							
教養教育科目	スペイン語	2前		4								兼1		
	中国語	2前		4								兼1		
	フランス語	2前		4								兼1		
	イタリア語	2前		4								兼1		
	ハンガール	2前		4								兼1		
	哲学	3・4後		4								兼+	2	教育効果を高めるため、兼任教員によるオムニ英語の授業が追加(26)
	心理学	3・4前		4								兼1		
	芸術史	3・4前		4								兼1		
	人権問題論	3・4前		4								兼1		
	憲法	3・4後		4								兼1		
	環境科学	3・4前		4								兼1		
	スポーツ健康科学	3・4後		2								兼1		
	情報機器実習	1通		2								兼1		
	総合科目A	3・4前		4								兼+	2	教育効果を高めるため、兼任教員によるオムニ英語の授業が追加(26)
	総合科目B	3・4後		4								兼1		
	総合科目C	3・4前		4								兼1		
	総合科目D	3・4後		4			+	0				兼+	兼1	兼任教員退職のため、専任教員による授業が追加することで補充(27) 「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。(28)
	総合実習A(インターンシップ)	2・3・4		2				1				※2		
総合実習B(インターンシップ)	2・3・4		2				1				※2			
総合実習C(ボランティア)	2・3・4		2								※2			
総合実習D(ボランティア)	2・3・4		2								※2			
海外フィールド・スタディA	2・3・4		4								※1			
海外フィールド・スタディB	2・3・4		4								※1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職に関する科目	教職概論	1前・後			2	2	3					兼3	「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を新規採用。履修機会の拡大のため開講クラスを増加。(28) 「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を新規採用。(28) 履修機会の拡大のため開講クラスを増加。(28) 履修機会の拡大のため開講クラスを増加。(28) 履修機会の拡大のため開講クラスを増加。(28) 履修機会の拡大のため開講クラスを増加。(28) 履修機会の拡大のため開講クラスを増加。(28) 履修機会の拡大のため開講クラスを増加。(28) 専任教員退職のため、当該科目を担当する兼担教員の担当授業が7を追加することで補充(26) 「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を新規採用。兼担教員1名、兼任教員1名退職。(28) 兼2集中1 兼1 兼2 3集中1 兼3 兼1 兼1 2 兼3 4 兼3 2 0 兼2集中1 兼1 兼1 兼2 3 「改善意見」を踏まえ、専任教員1名を既設学部へ転籍。(28)
	教育基礎論	1前・後・休			2	2	1					兼3集中1	
	教育心理学	1前・後			2	2		1				兼1	
	教育制度概論	2前・後・休			2	2	1					兼2 3集中1	
	英語科教育法Ⅰ	3前・後			4	4						兼3	
	英語科教育法Ⅱ	3後			4	4						兼1	
	道徳教育の理論と実践	2前・後			2	2	1					兼1 2	
	特別活動の理論と実践	3前・後			2	2						兼3 4	
	教育方法の理論と実践	3前・後			4	4	2					兼3 2 0	
	生徒指導論	3前・後・休			2	2	1					兼2集中1	
	教育相談	2前・後			2	2		1				兼1	
	教育実習Ⅰ	4通			5	5						兼1	
	教育実習Ⅱ	4通			3	3						兼1	
	教職実践演習(中・高)	4後			2	2	2	1				兼2 3	
日本語教育実習	4後			2	2							兼1	
	4後			2	2							兼1	
図書館司書に関する科目	生涯学習概論	1前・後			2	2						兼1	教育効果を高めるため、兼担教員による担当授業が7を追加(26)
	図書館概論	1前・後			2	2						兼1	
	図書館制度・経営論	2前・後			2	2						兼1	
	図書館情報技術論	2前・後			2	2						兼1	
	図書館サービス概論	1前・後			2	2						兼2	
	情報サービス論	2前・後			2	2						兼2	
	児童サービス論	2前・後			2	2						兼2	
	情報サービス演習A	3前・後			1	1						兼2	
	情報サービス演習B	3前・後			1	1						兼2	
	図書館情報資源概論	2前・後			2	2						兼1	
	情報資源組織論	1前・後			2	2						兼2	
	情報資源組織演習A	2前・後			1	1						兼2	
	情報資源組織演習B	2前・後			1	1						兼2	
	図書館基礎特論	3前・後			1	1						兼2	
図書館情報資源特論	3前・後			1	1						兼2		
図書・図書館史	3休			1	1						兼1 2集中		
司書に関する科目	学校経営と学校図書館	3前			2	2						兼2 オムニバス	
	学校図書館メディアの構成	2後			2	2						兼1	
	学習指導と学校図書館	3後			2	2						兼2 オムニバス	
	読書と豊かな人間性	2前			2	2						兼1	
	情報メディアの活用	2後			2	2						兼1	

備考※1: 留学中の学修等について単位認定を行う科目

備考※2: 国内外のインターンシップやボランティア活動における学修について単位認定を行う科目

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 9	科目 185	科目 37	科目 231	科目 9	科目 185	科目 37	科目 231	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	中宮キャンパス全体 関西外国語大学短期大学部と共用 ・駐車場増設に伴う校舎敷地、運動 場用地の面積変更(26) (仮称)御殿山キャンパス用地購入(27) 校地 50,285.83㎡ 運動場用地 6,720.99㎡ 平成28年3月 御殿山キャンパス・グローバルタ ウン(仮称)用地購入(28) 運動場用地 3,416.45㎡		
	校 舎 敷 地	0 ㎡	216,586.97 166,301.14 165,110.86 ㎡	0 ㎡	216,586.97 166,301.14 165,110.86 ㎡			
	運 動 場 用 地	0 ㎡	67,746.69 64,330.24 57,609.25 58,799.53 ㎡	0 ㎡	67,746.69 64,330.24 57,609.25 58,799.53 ㎡			
	小 計	0 ㎡	284,333.66 280,917.21 223,910.39 ㎡	0 ㎡	284,333.66 280,917.21 223,910.39 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	10,502.19 ㎡	0 ㎡	10,502.19 ㎡			
	合 計	0 ㎡	294,835.85 291,419.40 234,412.58 ㎡	0 ㎡	294,835.85 291,419.40 234,412.58 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	21,216.77 ㎡ (21,216.77 ㎡)	55,956.80 57,509.46 ㎡ (44,930.45 ㎡)	共用する他の 学校等の専用 5,990.18 ㎡ (5,990.18㎡)	計 83,163.75 84,716.41 ㎡ (72,137.40㎡)	中宮キャンパス全体 ・7号館完成後の登記により面積変更 (26)		
	講 義 室 132 105 室	演 習 室 101 80 室	実験実習室 10 室	情報処理学習施設 9 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設 14 室 (補助職員 0 人)	中宮キャンパス全体 ・7号館新設に伴う増(26)		
(3) 教 室 等	新設学部等の名称				室 数	専任1人補充による増 (25) 平成25年1月AC教員審査済		
(4) 専任教員研究室	英語キャリア学部 英語キャリア学科			29 30 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	英語キャリア学部	167,832[94,803] (167,129[94,499]) (166,982[94,372]) (166,681[94,187]) (166,067[93,751]) (165,767[93,751])	410[250] (373[240]) (373[239]) (374[239])	7,100 [7,000] (9,316[8,692]) (4,715[4,117]) (4,191[4,138]) (3,551[3,498])	15,560 (10,339) (13,865) (13,232) (12,785) (12,507)	259 (250) (206) (208) (222)	9 (0)	図書、学術雑誌、視聴覚資料購入による増 (25)(26) 図書、視聴覚資料購入による増(27) 機械・器具除却による減(27) 図書、購入による増(28) 学術雑誌のうち、電子ジャーナル購入分が増 (28) 視聴覚資料、ラーニング・コモンズ設置による 視聴覚閲覧環境の充実・多様化に伴う減(28) 機械・器具、購入による増(28)
	計	167,832[94,803] (167,129[94,499]) (166,982[94,372]) (166,681[94,187]) (166,067[93,751]) (165,767[93,751])	410 [250] (373[240]) (373[239]) (374[239])	7,100[7,000] (9,316[8,692]) (4,715[4,117]) (4,191[4,138]) (3,551[3,498])	15,560 (10,339) (13,865) (13,232) (12,785) (12,507)	259 (250) (206) (208) (222)	9 (0)	
	(6) 図 書 館	面 積	12,850 ㎡	閱 覧 座 席 数 1,179 1,345 1,230	収 納 可 能 冊 数 942,000	中宮キャンパス全体 図書館レイアウト変更により 閲覧席増 (25) ラーニング・コモンズ設置によるレイアウト変 更に伴う閲覧席減(28)		
(7) 体 育 館	面 積	14,453.63 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 テ ニ ス コ ー ト ア ー チェリ ー 練 習 場					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	7,033千円	1,186千円	1,086千円
	共同研究費等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	13,969千円	8,577千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
学生納付金以外の維持方法の概要	1,270千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	— 千円	— 千円		
		私立大学等経常経費補助金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	関西外国語大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
英語キャリア学部 英語キャリア学科	4	—	—	—	学士(英語キャリア)	—	平成23年度	大阪府枚方市中宮東之町16-1	平成25年4月より学生募集停止
外国語学部 英米語学科	4	1,170	300	5,280	学士(英語学)	1.14	昭和41年度	大阪府枚方市中宮東之町16-1	平成25年4月より入学定員変更 1,200人→1,170人 (△30人)
スペイン語学科	4	250	25	1,050	学士(スペイン語学)	1.12	昭和41年度	同上	
英語国際学部 英語国際学科	4	700	100	2,200	学士(英語国際)	1.11	平成26年度	大阪府枚方市穂谷1-10-1	
国際言語学部 国際言語コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(国際言語コミュニケーション学)	—	平成8年度	同上	平成26年4月(3年次編入学は平成28年4月)より学生募集停止
大学院 外国語学研究科 博士前期課程 英語学専攻	2	15	—	30	修士(英語学)(英語教育)	0.36	昭和48年度	大阪府枚方市中宮東之町16-1	
言語文化専攻	2	20	—	40	修士(言語文化)(日本語学)(英語ビジネス・コミュニケーション)	0.72	昭和51年度	同上	
博士後期課程 英語学専攻	3	3	—	9	博士(英語学)(英語教育)	0.33	昭和54年度	同上	
言語文化専攻	3	3	—	9	博士(言語学)(言語文化)(日本語学)(文化人類学)(比較文化学)	0.66	昭和54年度	同上	
大学の名称	関西外国語大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
英米語学科	2	800	—	1,600	短期大学士(英語学)	1.14	昭和28年度	大阪府枚方市中宮東之町16-1	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	アンドレアス スヴラコフ Andreas Svrakov	平成24年4月	LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences) LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	専任	講師	アンドレアス スヴラコフ Andreas Svrakov	平成25年4月	LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences) LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	兼任(講師)から専任(講師)へ変更(25) 平成25年1月 AC教員審査済
兼任	教授	田中 克之	平成25年4月	国際機構論	兼任	講師	市原 麻衣子	平成25年4月	国際関係論Ⅱ 国際機構論	教育効果を高めるため、オール英語の授業でより研究分野が近い教員へ変更(25)
兼任	講師	金 ゼンマ	平成24年4月	国際関係論Ⅱ	兼任	講師	中川 真由美	平成26年4月	総合科目A	教育効果を高めるため、オール英語の授業が追加(26)
兼任	教授	加藤 謙	平成25年9月	総合科目B	兼任	講師	中川 真由美	平成26年4月	総合科目B	退職に伴い、オール英語の授業が追加へ担当者変更(26)
					兼任	講師	ジョン シュルトツ John Shultz	平成25年9月	日本学A 哲学 比較文化研究	教育効果を高めるため、オール英語の授業が追加(26)
兼任	准教授	田村 直樹	平成23年9月	ビジネス統計 国際経営論	兼任	准教授	北尾 信夫	平成25年9月	ビジネス統計	前任者の健康上の理由により、平成25年9月から担当者を変更(26)
					兼任	教授	金城 亜紀	平成26年4月	国際経営論	前任者の健康上の理由により、担当者を変更(26)
					兼任	講師	塚田 泰彦	平成26年9月	国語科指導法	教育効果を高めるため、授業が追加開講(26)
専任	講師	草野 千秋	平成23年4月	キャリア・デザイン 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	専任	講師	古田 克利	平成27年4月	キャリア・デザイン 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	平成27年3月 草野千秋専任講師退職のため、平成27年度より既設学部からの転籍により専任講師を補充(27)
兼任	教授	石崎 寛治	平成25年9月	総合科目D	専任	教授	落合 清茂	平成25年4月	総合科目D	平成27年3月 石崎寛治兼任教授退職のため、平成27年度より担当者を変更(27)
兼任	教授	大久保 恭子	平成25年4月	芸術史	兼任	講師	山本 友紀	平成27年4月	芸術史	平成26年8月 大久保恭子兼任教授退職のため、平成27年度より担当者を変更(27)
兼任	教授	金城 亜紀	平成26年4月	国際経営論	兼任	教授	スティーブン ザーカ Stephen Zurcher	平成27年4月	国際経営論	平成27年3月 金城亜紀兼任教授退職のため、平成27年度より担当者を変更(27)
兼任	講師	メーガン ルー Meagan Reule	平成26年9月	LgD: Reading Comprehension	兼任	教授	リサ ミラー Lisa Miller	平成26年9月	LgD: Reading Comprehension	平成26年8月 Meagan Reule兼任講師退職のため、平成26年9月より担当者を変更(27)
兼任	講師	北條 秀司	平成25年4月	人権問題論	兼任	教授	明石 一郎	平成27年4月	人権問題論	平成27年3月 北條秀司兼任講師退職のため、平成27年度より担当者を変更(27)
兼任	教授	安田 猛	平成24年4月	キャリア形成A キャリア形成B	兼任	教授	末包 厚喜	平成27年4月	キャリア形成A キャリア形成B	平成27年3月 安田猛兼任教授退職のため、平成27年度より担当者を変更(27)
兼任	准教授	北尾 信夫	平成25年9月	ビジネス統計					ビジネス統計	教育効果を高めるため、平成27年度より、より研究分野に近い教員へ変更(27)
兼任	講師	畠山 京子	平成24年4月	国際関係論Ⅰ	兼任	助教	三牧 聖子	平成27年4月	国際関係論Ⅰ	教育効果を高めるため、平成27年度より、オール英語の授業でより研究分野に近い教員へ変更(27)
兼任	講師	須川 亜紀子	平成24年4月	日本学A 比較文化研究	兼任	助教	具 本媛	平成27年4月	日本学A	平成27年3月 須川亜紀子兼任講師退職のため、平成27年度より「日本学A」の担当者を変更。「比較文化研究」は、平成26年度に担当教員を1名追加しているため、支障はない。(27)
兼任	講師	篠原 総一	平成23年4月	イントロダクション経済学(オムニバス)	兼任	講師	西村 理	平成27年4月	イントロダクション経済学(オムニバス)	平成26年8月 篠原総一兼任講師退職のため、平成27年度より担当者を変更(27)
					兼任	教授	伊東 治己	平成27年9月	グローバル教育論	教育効果を高めるため、平成27年度より、授業が追加開講(27)
専任	教授	菊池 繁夫	平成23年4月	英語学概論 英語学複合研究 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	専任	准教授	三浦 あゆみ	平成28年4月	英語学概論 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	平成28年4月「改訂意見」を踏まえ、菊池繁夫専任教授を既設学部へ転籍。これに伴い、既設学部からの転籍により専任准教授を補充。(28)
					兼任	教授	菊池 繁夫	平成23年4月	英語学概論 英語学複合研究	
専任	教授	丹羽 隆昭	平成23年4月	地域研究A(欧米) 英語文学概論 英語文学作品研究 英語学複合研究 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	専任	教授	柏原 和子	平成28年4月	地域研究A(欧米) 英語文学概論 英語文学作品研究 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	平成28年4月「改訂意見」を踏まえ、丹羽隆昭専任教授を既設学部へ転籍。これに伴い、既設学部からの転籍により専任教授を補充。(28)
					兼任	教授	丹羽 隆昭	平成23年4月	英語学複合研究	
専任	教授	堀江 康熙	平成23年4月	アカデミック・リーディングⅢ アカデミック・リーディングⅣ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ミクロ経済学 マクロ経済学 金融論 ファイナンス 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	専任	教授	滝川 好夫	平成28年4月	ミクロ経済学 マクロ経済学 金融論 ファイナンス 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	平成28年4月「改訂意見」を踏まえ、堀江康熙専任教授を既設学部へ転籍。これに伴い、専任教授を新編採用。(28)
					兼任	教授	堀江 康熙	平成23年4月	アカデミック・リーディングⅢ アカデミック・リーディングⅣ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	岡澤 潤次	平成25年4月	社会 社会科指導法 学校・学級マネジメント 教育法規	専任	教授	馬場 勝	平成28年4月	社会 学校・学級マネジメント 教育法規	平成28年4月「改訂意見」を踏まえ、岡澤潤次専任教授を既設学部へ転属。これに伴い、専任教授を新規採用。(28)
					兼任	教授	岡澤 潤次	平成25年4月	社会科指導法	
専任	教授	落合 清茂	平成25年4月	理科 総合科目D	兼任	教授	落合 清茂	平成25年4月	理科 総合科目D	平成28年4月「改訂意見」を踏まえ、落合清茂専任教授を既設学部へ転属。これに伴い、専任教授を新規採用。(28)
兼任	教授	川面 澄	平成25年4月	環境科学					環境科学	平成28年3月 川面清澄准教授退職のため、平成28年度より担当科目を追加。(28)
専任	教授	藤原 一秀	平成25年4月	音楽 音楽科指導法 音楽実技演習A 音楽実技演習B	専任	教授	西尾 隆司	平成28年4月	音楽 音楽実技演習A	平成28年4月「改訂意見」を踏まえ、藤原一秀専任教授を既設学部へ転属。これに伴い、専任教授を新規採用。(28)
					兼任	教授	藤原 一秀	平成25年4月	音楽 音楽科指導法 音楽実技演習A 音楽実技演習B	
専任	教授	渡邊 一郎	平成25年4月	算数	専任	教授	新坊 昌弘	平成28年4月	算数 教育方法学	平成28年4月「改訂意見」を踏まえ、渡邊一郎専任教授を既設学部へ転属。これに伴い、専任教授を新規採用。(28)
					兼任	教授	渡邊 一郎	平成25年4月	算数	
専任	准教授	池田 亮	平成23年4月	アカデミック・リーディングⅠ アカデミック・リーディングⅡ アカデミック・リーディングⅢ アカデミック・リーディングⅣ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	専任	助教	三牧 聖子	平成27年4月	アカデミック・リーディングⅠ アカデミック・リーディングⅡ アカデミック・リーディングⅢ アカデミック・リーディングⅣ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ 英語キャリア卒業研究Ⅰ 英語キャリア卒業研究Ⅱ	平成28年3月 池田亮専任准教授退職に伴い、既設学部からの転属により専任助教を補充。(28)
専任	教授	フランス リンゼイ Francis Lindsey	平成23年4月	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I) LgD:Reading & Writing II (Global Issues II) LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences) LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	専任	講師	マクドナルド カイト McDonald Kyte	平成28年4月	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I) LgD:Reading & Writing II (Global Issues II) LgD:Speaking & Listening I (Groups within Societies) LgD:Speaking & Listening II (Conflicts within Societies)	
専任	准教授	セー スキパー Sara Schipper	平成23年4月	LgD:Speaking & Listening I (Groups within Societies) LgD:Speaking & Listening II (Conflicts within Societies)	専任	教授	リサ ミラー Lisa Miller	平成26年9月	LgD:Speaking & Listening I (Groups within Societies) LgD:Speaking & Listening II (Conflicts within Societies)	平成27年8月 スコット・ビーン専任准教授およびマクドナルド・カイト専任講師の雇用契約期間満了(退職)に伴い、既設学部からの転属によりマクドナルド・カイト専任講師およびリサ・ミラー専任講師を補充。(28)
兼任	教授	リサ ミラー Lisa Miller	平成26年9月	LgD: Reading Comprehension	兼任	教授	フランス リンゼイ Francis Lindsey	平成23年4月	LgD: Reading Comprehension	平成28年3月 セー スキパー専任准教授の雇用契約期間満了(退職)に伴い、マクドナルド・カイト専任講師を新規採用。(28)
専任	准教授	スコット ビーン Scott Bean	平成23年4月	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I) LgD:Reading & Writing II (Global Issues II) LgD:Academic English (Cultural Perspectives) LgD:Analytical Thinking (Cultural Reflections)	専任	講師	エリオット ペットン Elliot Petton	平成27年9月	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I) LgD:Reading & Writing II (Global Issues II) LgD:Academic English (Cultural Perspectives) LgD:Analytical Thinking (Cultural Reflections)	平成28年4月「改訂意見」を踏まえ、フランス・リンゼイ専任教授を既設学部へ転属。これに伴い、既設学部からの転属によりマクドナルド・カイト専任講師を補充。(28)
専任	講師	ブライアン ボンド Brian Bond	平成23年4月	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I) LgD:Reading & Writing II (Global Issues II) LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences) LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	専任	講師	マイクグリーン Michael Green	平成27年9月	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I) LgD:Reading & Writing II (Global Issues II) LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences) LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	
兼任	教授	ガーレイノルド Garr Reynolds	平成23年9月	英語ビジネス・プレゼンテーション 英語ビジネス・プレゼンテーション	兼任	教授	リンダ ボーカー Linda Bohaker	平成28年9月	英語ビジネス・プレゼンテーション	平成28年1月 ガーレイノルド専任准教授退職に伴い、既設学部よりリンダ・ボーカー専任教授を補充するとともにリンダ・ボーカー兼任教授を新規採用。(28)
					兼任	教授	スティーブン ザーチャー Stephen Zurcher	平成28年9月	英語ビジネス・プレゼンテーション	
兼任	講師	市原 麻衣子	平成25年4月	国際関係論Ⅱ 国際機構論	兼任	講師	マーク コガン Mark Cogan	平成28年4月	国際機構論	平成28年3月 市原麻衣子兼任講師退職に伴い、既設学部よりマーク・コガン兼任講師を補充。「国際関係論Ⅱ」は、平成24年度に担当教員を1名追加しているため、支障はない。(28)
兼任	講師	松原 陽子	平成25年4月	異文化と歴史A	兼任	助教	中谷 早苗	平成28年4月	異文化と歴史A 地域研究A(欧米)	平成28年3月 松原陽子兼任講師退職に伴い、中谷早苗助教を補充。また、教育効果を高めるため「地域研究A(欧米)」のオール英語クラスを追加開講。(28)
兼任	講師	棚橋 尚子	平成25年9月	国語科指導法						平成28年3月 棚橋尚子兼任講師退職。「国語科指導法」は、平成26年度に兼任講師を1名追加しているため、支障はない。(28)

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	網倉 尚武	平成26年4月	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)	兼任	教授	角野 茂樹	平成24年4月	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	就任辞退に伴い、兼任教員へ担当者変更(25)
					兼任	講師	山元 行博	平成26年4月	教職実践演習(中・高)	就任辞退に伴い、兼任教員へ担当者変更(25)
兼任	講師	青木 貞子	平成25年4月	教育方法の理論と実践	兼任	教授	並松 善秋	平成25年4月	教育方法の理論と実践	退職(平成25年8月)に伴い、当該科目を担当する兼任教員の担当授業科目を追加することで補充(25)
					兼任	教授	細戸 康治	平成26年4月	図書・図書館史	図書館司書課程の充実を図るため、兼任教員による担当授業科目を追加(26)
兼任	講師	宮高 和男	平成25年4月	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 教育方法の理論と実践	兼任	教授	並松 善秋	平成25年4月	教育方法の理論と実践	平成27年3月 宮高和男兼任講師退職のため、平成27年度より担当者を変更(27)
					兼任	講師	浅野 敏朗	平成27年4月	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ	平成27年3月 宮高和男兼任講師退職のため、平成27年度より担当者を変更(27)
兼任	講師	山元 行博	平成26年4月	教職実践演習(中・高)	兼任	教授	津田 仁	平成28年4月	教職概論 教職実践演習(中・高)	平成28年3月 山元行博兼任講師退職に伴い、津田仁兼任教授を補充。(28)
専任	教授	岡澤 潤次	平成25年4月	教職概論 教職実践演習(中・高)	兼任	教授	岡澤 潤次	平成25年4月	教職実践演習(中・高)	
					専任	教授	新坊 昌弘	平成28年4月	教職概論 教育方法の理論と実践	
兼任	教授	並松 善秋	平成25年4月	英語科教育法Ⅰ 教育方法の理論と実践 教職実践演習(中・高)	兼任	教授	太田 和男	平成28年4月	教職概論 遠征教育の理論と実践 教育制度概論 特別活動の理論と実践 教職実践演習(中・高)	平成28年4月「改訂意見」を踏まえ、岡澤潤次専任教員を既設学部へ転属。 平成28年3月 並松善秋兼任教授退職。 これらに伴い、専任教員1名を新規採用、兼任教授3名を補充。(28)
					兼任	教授	伊東 治巳	平成28年4月	英語科教育法Ⅰ	
兼任	講師	浅野 敏朗	平成27年4月	英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ	兼任	教授	新里 眞男	平成28年4月	英語科教育法Ⅰ	平成28年3月 浅野敏朗兼任講師退職に伴い、兼任教授1名、兼任講師1名を補充。(28)
					兼任	講師	山野 茂	平成28年4月	英語科教育法Ⅱ	
					専任	教授	馬場 勝	平成28年4月	教育基礎論 教職概論	平成28年4月 受贈機会の拡大を図るため、開講クラスを追加。(28)
兼任	教授	川瀬 正幸	平成24年4月	図書館制度・経営論 図書館情報技術論 情報サービス論 情報サービス演習Ⅱ 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論 図書・図書館史 図書館基礎特論 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	兼任	教授	奥田 正義	平成28年4月	図書館制度・経営論 図書館情報技術論 情報サービス論 情報サービス演習Ⅱ 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論 図書・図書館史 図書館基礎特論 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	平成28年3月 川瀬正幸兼任教授退職に伴い、奥田正義兼任教授を補充。(28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに兼任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
15	12	2	0	29	13	10	5	1	29	13	10	5	1	29
(15)	(12)	(2)	(0)	(29)						[Δ2]	[Δ2]	[3]	[1]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1							
2							
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	-	科目	必修	-	科目
		選択	-	科目	選択	-	科目
		自由	-	科目	自由	-	科目
		計	-	科目	計	-	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	草野 千秋	選択	キャリア・デザイン	①	雇用契約期間満了 (27)
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅰ	①	
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅱ	①	
2	教授	菊池 繁夫	必修	英語学概論	①	設置計画履行状況調査結果の「改善意見」を踏まえ、既設学部へ転籍 (28)
			選択	英語学複合研究	②	
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅰ	①	
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅱ	①	
3	教授	丹羽 隆昭	選択	地域研究A (欧米)	①	設置計画履行状況調査結果の「改善意見」を踏まえ、既設学部へ転籍 (28)
			選択	英語文学概論	①	
			選択	英語文学作品研究	①	
			選択	英語文学複合研究	②	
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅰ	①	
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅱ	①	
4	教授	堀江 康熙	選択	アカデミック・リーディングⅢ	②	設置計画履行状況調査結果の「改善意見」を踏まえ、既設学部へ転籍 (28)
			選択	アカデミック・リーディングⅣ	②	
			選択	ゼミナールⅠ	②	
			選択	ゼミナールⅡ	②	
			選択	ミクロ経済学	①	
			選択	マクロ経済学	①	
			選択	金融論	①	
			選択	ファイナンス	①	
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅰ	①	
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅱ	①	
5	教授	岡澤 潤次	選択	社会	①	設置計画履行状況調査結果の「改善意見」を踏まえ、既設学部へ転籍 (28)
			選択	社会科指導法	②	
			選択	学校・学級マネジメント	①	
			選択	教育法規	①	
			選択	教職概論	①	
6	教授	落合 清茂	選択	教職実践演習 (中・高)	②	設置計画履行状況調査結果の「改善意見」を踏まえ、既設学部へ転籍 (28)
			選択	理科	②	
			選択	総合科目D	②	
7	教授	藤原 一秀	選択	音楽	①	設置計画履行状況調査結果の「改善意見」を踏まえ、既設学部へ転籍 (28)
			選択	音楽科指導法	②	
			選択	音楽実技演習A	①	
			選択	音楽実技演習B	②	
8	教授	渡邊 一郎	選択	算数	①	設置計画履行状況調査結果の「改善意見」を踏まえ、既設学部へ転籍 (28)

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
9	准教授	池田 亮	選択	アカデミック・リーディングⅠ	①	他大学での専任教員枠就任 (28)							
			選択	アカデミック・リーディングⅡ	①								
			選択	アカデミック・リーディングⅢ	①								
			選択	アカデミック・リーディングⅣ	①								
			選択	ゼミナールⅠ	①								
			選択	ゼミナールⅡ	①								
			選択	国際関係論Ⅰ	①								
			選択	国際関係論Ⅱ	①								
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅰ	①								
			選択	英語キャリア卒業研究Ⅱ	①								
10	教授	フランス リンゼイ Francis Lindsey	必修	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I)	①	設置計画履行状況調査結果の「改善意見」 を踏まえ、既設学部へ転籍 (28)							
			必修	LgD:Reading & Writing II (Global Issues II)	①								
			必修	LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences)	①								
			必修	LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	①								
11	准教授	セラ スキッパー Sara Schipper	必修	LgD:Speaking & Listening I (Groups within Societies)	①	雇用契約期間満了 (28)							
			必修	LgD:Speaking & Listening II (Conflicts within Societies)	①								
12	准教授	スコット ビーン Scott Bean	必修	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I)	①	雇用契約期間満了 (28)							
			必修	LgD:Reading & Writing II (Global Issues II)	①								
			必修	LgD:Academic English (Cultural Perspectives)	①								
			必修	LgD:Analytical Thinking (Cultural Reflections)	①								
13	講師	ブライアン ボンド Brian Bond	必修	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I)	①	雇用契約期間満了 (28)							
			必修	LgD:Reading & Writing II (Global Issues II)	①								
			必修	LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences)	①								
			必修	LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	①								
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)									
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)							
13	人	必修	15	科目	必修	15	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	45	科目	選択	33	科目	選択	12	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	60	科目	計	48	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
13	必修	15	科目	必修	15	科目	必修	0	科目
	選択	45	科目	選択	33	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	60	科目	計	48	科目	計	12	科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【平成27年度】 大学の所見： 既設学部からの転籍により、キャリア教育において、より専門性が高く、教育・研究実績のある専任教員を補充した。</p> <p>学生への周知方法： 授業担当者の変更について、学内掲示やWeb履修支援システム・履修登録ガイダンスにおいて、学生に配布または公開される時間割・コースシラバス等で周知徹底を図った。</p> <p>【平成28年度】 大学の所見： 「改善意見」を踏まえ既設学部への転籍8名、他大学での専任教員枠就任1名、雇用契約期間満了3名について、既設学部からの転籍6名、新規採用5名で教育・研究実績のある専任教員を補充した。</p> <p>学生への周知方法： 授業担当者の変更について、学内掲示やWeb履修支援システム・履修登録ガイダンスにおいて、学生に配布または公開される時間割・コースシラバス等で周知徹底を図った。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年1月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (26年2月)	英語キャリア学部英語 キャリア学科におい て、定年規程に定める 退職年齢を超える専任 教員数の割合が比較的 高いことから、定年規 程の趣旨を踏まえた適 切な運用に努めるとと もに、教員組織編成の 将来構想について検討 すること。	留意事項	<p>【現状】 定年規程の定める退職年齢を 超える専任教員数の割合は、 開設年度は23.3%、2年次は 26.7%、3年次は36.7%、完成 年次は33.3%と推移する。</p> <p>【改善方策】 ①理事長、学長のリーダシッ プの下、人事委員会の下に ワーキング・グループを設 け、教員組織編成のあり方、 将来構想などを検討し、平成 26年6月を目途に方向性をまと める。 ②当該ワーキング・グループ での検討結果を基に、教員リ クルーティングに際しては、 定年規程の趣旨を踏まえつ つ、人的ネットワーク、イン ターネット等を介した幅広い 募集活動を早期に展開し、優 秀な人材の確保に努めること により、平成29年度までには 定年年齢を超える専任教員数 の割合を20%以下にすること を目標とする。</p> <p>(26)</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (27年2月)	英語キャリア学部英語 キャリア学科におい て、定年規程に定める 退職年齢を超える専任 教員数の割合が比較的 高いことから、定年規 程の趣旨を踏まえた適 切な運用に努めるとと もに、教員組織編成の 将来構想について検討 すること。	改善意見	<p>【現状】平成27年4月現在、定 年規程に定める退職年齢を超 える専任教員は30名中11名 (36.7%)となる。完成年度を 迎える平成28年4月には10名 (33.3%)となる。</p> <p>【改善状況】退職年齢を超え る教員の後任については、人 事委員会のメンバーを中心と して、学会・研究会などを通 じて、人材発掘・リクルー ティングを行っている。</p> <p>(27)</p> <p>退職年齢を超える者の後任人 事については、引き続き、 「英語キャリア学部教員組織 編成改善方針」を踏まえ、当 該科目を担当するにふさわし い教員の積極的な発掘・リク ルーティングなどを行うた め、人事委員会のメンバー、 あるいは教職課程担当の教員 等を中心として、当該人材の 確保に努め、平成29年には退 職年齢を超える割合を半減さ せるべく、教員組織編成の適 正化を図る。</p> <p>(27)</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (27年5月)	該当なし	該当なし	該当なし

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調査時 (28年2月)	英語キャリア学部英語 キャリア学科におい て、定年規程に定める 退職年齢を超える専任 教員数の割合が比較的 高いことから、定年規 程の趣旨を踏まえた適 切な運用に努めるとと もに、教員組織編制の 将来構想について検討 すること。	改善意見	<p>【現状】平成27年4月現在、定 年規定に定める退職年齢を超 える専任教員は30名中11名 (36.7%)となっている。</p> <p>【対応状況】退職年齢を超 える教員の後任については、 「英語キャリア学部教員組織 編制改善方針」を踏まえ、継 続的に当該科目を担当するに ふさわしい教員の積極的な発 掘・リクルーティングなどを 行った。その結果、平成28年4 月には専任教員29名中退職年 齢を超える人数が2名 (6.9%)までに改善される見 込みとなった。</p> <p>(28)</p>	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 大学全体の教育活動の質的向上・発展を図ることを目的として、平成20年度から「ファカルティ・デベロップメント(FD)委員会」を設置している。構成員は、委員長、教務部長、学長が委嘱する委員(外国人教員含む)、事務局長等の関係職員など、総勢41人で活動を展開している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 年間5回程度開催している。委員は出席を義務付けられており、出張や学内会議等の公務による理由以外は、毎回ほぼ全員が出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育内容および方法の改善のための方策に関する事項 ・ 教育内容および方法にかかる研究会、研修会、シンポジウム等の企画運営に関する事項 ・ 学生による授業評価の実施、分析等に関する事項 ・ 教員からの教育内容および方法の相談に関する事項 ・ 教育内容および方法にかかる指導が必要な教員に関する事項 ・ ファカルティ・デベロップメント(FD)活動報告書等の作成に関する事項 ・ 学長が諮問する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD授業公開の実施 ・ FD教員研修会の開催 ・ FD授業評価の実施・分析 ・ FD授業評価集計結果・分析に関する教員の所見回収、公表 ・ FDワークショップの開催 ・ FD講演会の開催 ・ FDカフェの開催 ・ FD授業実践研究フォーラムの開催 ・ FDシンポジウムの開催 ・ 機関紙『FD Newsletter』の発行 ・ 機関誌『高等教育研究論集』の刊行

b 実施方法

- FD授業公開の実施(年間2回)
春・秋学期に各2か月間の授業公開期間を設け、全学部全授業を対象とした教員の相互授業参観を行っている。授業者は、参観者からの建設的なコメント(フィードバック)を自分の授業に反映させる。同時に、参観者は、授業者の教授法を自らの授業の参考にしている。
- FD教員研修会の開催(年間1回)
当該年度着任の教員を主な対象に、より魅力ある授業を目指し、授業経験豊富な教員の授業実践報告・議論を通じて、授業の質の向上を図っている。
- FD授業評価の実施(年間2回)・分析(年間1回)
春・秋学期ともに、全開講科目の履修者を対象としてFD授業評価を実施している。FD授業評価結果は、各学期終了後に担当教員本人へフィードバックする。
- FD授業評価・分析に関する教員の所見回収、公表(年1回)
各教員は上記の授業評価結果を踏まえ、年度末に自己分析を行う。次年度からの授業運営に生かすことで、授業の質の向上を図っている。FD授業評価結果および自己分析結果は、学修支援システム上で学生に公開する。
- FDワークショップの開催(年間1回)
FD委員会が推薦する教員が、単独又は複数で「私の授業実践」や「私の授業改善の試み」といったテーマで発表し、その内容について出席者同士で意見交換する。
- FD講演会の開催(年間1回)
学外の専門家や実務家を招き、外部から見た本学に求められる教育研究活動等、FDの形骸化を防ぎ、推進に寄与するテーマを設定、講演・質疑応答を通じて授業改善を図る。
- FDカフェの開催(年間2回)
学内の教員が、教育・授業、学問・研究、あるいは人生観など自由に話し、参加者と懇談する。学生も参加可能で、教員と学生とが、専門的な事項について活発かつ自由に議論し、教員・学生協働で授業改善を図る。
- FD授業実践研究フォーラムの開催(年間1回)
全学的に発表者を公募し、応募教員一人当たり30分の持ち時間で教育実践を中心とした高等教育に関するテーマについて学会形式で発表を行うもので、教員同士の知見・経験を共有し、教育力の向上を目指す。
- FDシンポジウムの開催(年間1回)
ひとつの統一テーマのもとに、複数教員による特定の教育プログラムの実践例について報告会を行い、フロアとの質疑応答を通じて授業改善の方法を探る。
- 機関紙『FD Newsletter』の発行(年間3回)
FD委員会の活動方針・予定、教員の参加状況・コメント、各プログラムの実施報告等を掲載した機関紙を発行。全教職員に配付。紙面は日英両語で併記され、約200人の外国人教員とも情報の共有を図っている。
- 機関誌『高等教育研究論集』の刊行(年間1回)
本学教員の教育実践に係る論文等の投稿を募集し、FD委員会が査読を行い掲載の可否を判断する。併せて、FD委員会が企画・実施したFD活動記録も含めて編纂し、全教職員に配付する。
- FD委員会所管外の活動
新任教員ガイダンス(教務委員会主催、年1回)、人権問題学習会(人権教育思想研究委員会主催、年1回)、新任教職員人権問題研修会(人権教育思想研究委員会主催、年1回)、オール英語による授業のための米国大学におけるFD研修(米国インディアナ州立大学と共催、年1回)などを実施している。
このほか、FD委員を中心に外部の研究会等にも積極的に参加し、他大学の最新の取組状況や関係学会等における研究成果の吸収、学内教委職員への還元を図っている。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- FD授業公開の実施
平成27年度は春学期(5月1日～6月30日)と秋学期(11月2日～12月24日)にそれぞれ2か月間実施し、春学期は114人、秋学期は92人の授業参観の申込があった。
- FD教員研修会の開催
平成27年度は、5月2日(土)午後開催し、新任教員25人を含む67人の参加があった。
- FD授業評価の実施・分析
平成27年度は春学期(7月10日～7月22日)と秋学期(12月18日～12月24日)にそれぞれ実施し、次学期の授業開始までに担当教員本人へのフィードバックを行った。また、授業評価集計および分析結果の公表は平成28年6月を予定。
- FD授業評価集計結果・分析に関する教員の所見回収、公表
平成27年度は、3月7日～3月26日に所見の入力を実施。497人(全教員の92.7%)からの回答(回収率)を得た。公表は平成28年6月を予定。
- FDワークショップの開催
平成27年度は、10月29日(水)に3名の教員によるワークショップを開催し、それぞれ「自動車王の夢をめぐって」「英語国際学部・国際言語学部におけるPBL授業をめぐって」「スペイン語文学と私」のテーマで、45人の参加があった。
- FD講演会の開催
第6回目となるFD講演会を9月9日(水)に開催し、「大学生の学びと成長を促進するために何ができるかー高等教育質保証の実践的展開に関する各種データを踏まえてー」のテーマで、56人の参加があった。

- ・ FDカフェの開催
平成27年度は、第7回目を7月23日(木)[40名出席]、第8回目を1月27日(水)[32名出席]に行い、それぞれ「ライフワークとなったマイクロネシアの考古学」「笑育学の一考察」と題し、意見交換を行った。
- ・ FD授業実践研究フォーラムの開催
第5回目となるフォーラムを1月6日(水)に開催。発表者20人(うち外国人4人)から授業実践に関する取組みが報告され、70人の参加があった。
- ・ FDシンポジウムの開催
第8回目となるシンポジウムを2月3日(水)に開催。「学びが深化し、学ぶ意欲が高まる授業を目指して」のテーマで講演を行い、パネルディスカッションも行った。出席者は58人であった。
- ・ 機関紙『FD Newsletter』の発行
平成27年度は、6月号(第30号)、10月号(第31号)、3月号(第32号)の3回発行。
- ・ FD委員会所管外の活動
 - * 新任教員ガイダンス 平成28年3月31日(木)実施、93人出席。
 - * 人権問題学習会 平成27年11月23日(月)実施、47人出席。
 - * 新任教職員人権問題研修会 平成27年5月18日(月)・20日(水)実施、30人出席。
 - * 米国インディアナ州立大学におけるFD研修 平成28年2月15日(月)～2月24日(水)実施、7人参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

年間を通じた組織的・全学的FD活動によって、外国語教育を中心に、幅広い分野で実践的な授業改善に取り組んでいる。その結果は、年2回実施している学生による授業評価において、総合満足度が平成24年度春学期74%・秋学期75%、平成25年度春学期75%・秋学期78%、平成26年度春学期74%・秋学期78%、平成27年度春学期83%・秋学期84%と高い比率を維持するなど、成果を上げている。

英語キャリア学科では、これらのFD活動のほか、新入生受け入れ直後から、3アドバイザー(アカデミック・アドバイザー、スタディアブロード・アドバイザー、キャリア・アドバイザー)による学生指導方針、指導分担、学生の学修進捗度等について情報交換会を行っている。(平成24年6月・11月、平成25年5月・11月、平成26年5月・10月、平成27年5月・10月)

特に、指導の中心的存在となる専任教員(アカデミック・アドバイザー)19人が中心となって、授業登録に係るオリエンテーションのほかに、当該学部の特徴、学修分野の説明、学修方法等についてのガイダンスや、クラス別懇談会を行っている。(平成27年3月、9月、平成28年1月)

本学部が原則として3年次に1年間の専門留学に派遣されることが前提となっていることから、留学派遣に係る資格審査へ向けての学修指導、審査基準の設定、資格審査実施など、アカデミック・アドバイザーとスタディアブロード・アドバイザーが入念な打合せを行い、キャリア・アドバイザーとも情報を共有しながら全学的・組織的に指導を行っている。

キャリア・アドバイザーは、1年生の早期の段階からキャリアへの気づきを促すため、講演会、各種ワークショップ、個別面談等を年間を通じて実施し、学生の傾向や志向性について他のアドバイザーへフィードバックを行っている。

英語キャリア学科小学校教員コースでは、教員間の綿密なコミュニケーションを図り、「英語が使える小学校教員」の育成に向け、学生の指導力強化に努めている。新入生全員が参加する1泊2日の合宿や、小学校の授業見学および授業補助を通じて見えてくる、学生個々のモチベーションや意識について情報共有し、今後の指導方法について検討を行っている。

今後もこうした取組を継続的に行い、教員の資質維持・向上はもちろん、さらなる授業科目間のコーディネートや授業間での情報共有・連携強化に取り組んでいく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年に2回、学期ごとに、全開講科目の履修者を対象とし、実施している。平成27年度は、春学期(7月10日～7月22日)、秋学期(12月18日～12月24日)に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生による授業評価は、各学期終了後に集計結果を担当教員本人へフィードバックしている。また、授業評価の集計結果は、教員別・科目別にまとめて冊子とし、図書館に備え付けて、教職員および学生に公開している。平成27年度の授業評価結果および授業評価集計結果・分析に関する教員の所見をWeb上で公表する予定。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・全般的に概ね計画どおりに進行している。

<英語キャリア学科>

- ・入学定員120人に対し、入学者は平成25年度124人(志願者2,039人)、平成26年度128人(志願者1,946人)、平成27年度150人(志願者2,097人)、平成28年度133人(志願者2,239人)と順調かつ適切に確保している。
- ・学生の学修進捗状況について、平成25年度入学生の英語力は、入学時のTOEFL(PBT)の平均点473点が、平成26年4月では505点、平成26年度入学生は、入学時460点が平成26年12月には512点、平成27年度入学生は入学時469点が平成27年12月には515点と約50点の伸びを示しており、教育効果は着実に上がっている。平成25年度入学生の4年生において、85人(全体の87%)がTOEFL500点以上を取得しており、英語キャリア学科の到達目標であるTOEFL550点・TOEIC730点以上取得している学生も48人に達している。
- ・3年次からの専門留学へ向けて、1・2年次の間に留学資格審査を4回実施することとなり、筆記・面接試験、単位修得・出席状況等を踏まえ、留学に耐える学力の正確な把握に努めるとともに、留学候補となった学生への留学準備教育と、留学先の履修・学修方法について、設置計画どおり適切に指導を行っている。
- ・平成25年度入学生の留学派遣状況は、2年次(2014年)秋から10人、3年次(2015年)春から47人、3年次(2015年)秋には27人を派遣した。全体では84人(全体の80%)が留学に参加した。
- ・平成26年度入学生の留学派遣状況は、2年次(2015年)秋から3人、3年次(2016年)春から39人、3年次(2016年)秋には41人を派遣する予定であり、全体では83人(全体の68.6%)が留学に参加または現在留学の準備を進めている。
- ・事情により留学に参加できなかった学生へは、留学生別科共同開講科目やオール英語で開講される科目を積極的に受講し、英語力の向上と学際領域における複合的学修に努めるよう指導を行っている。
- ・キャリア支援については、キャリア・アドバイザーを中心に個々の学生に対し、1年次より各学期1回以上の面談を実施し、進路に対する目標設定や就職・進学に向けた準備、対策等のきめ細かな指導を行っている。
- ・平成27年3月に卒業した1期生においては就職希望者80名全員が、平成28年3月に卒業した2期生においても就職希望者97名全員が、それぞれ就職内定しており、開学以来就職内定率100%を維持している。
- ・3アドバイザーは、英語キャリア学科全体の学修指導方針や、学生一人ひとりの学力や就学状況について相互に確認を行いつつ、適切に指導を行っており、今後もこの体制を維持・強化していく。
- ・英語と社会科学の複合的学修の集大成として、4年次秋学期に「複合研究」を開講し、平成28年12月17日に行う学修成果発表会をととして、英語キャリア基礎力の評価・検証を行う。

<英語キャリア学科小学校教員コース>

- ・入学定員30人に対し、入学者は平成25年度29人(志願者357人)、平成26年度35人(志願者296人)、平成27年度40人(志願者268人)、平成28年度31人(志願者354人)と順調かつ適切に確保している。
- ・学生の学修進捗状況について、平成25年度入学生の英語力は、入学時のTOEFL(PBT)の平均点428点が、平成25年12月では450点、平成26年度入学生は、入学時435点が平成26年12月には478点、平成27年度入学生は入学時424点が平成27年12月には460点と30点以上の伸びを示しており、教育効果は着実に上がっている。
- ・英語キャリア学科小学校教員コースでは、毎月1回の小学校教員コース教員会議で連絡・協議を重ね、きめ細やかな就学支援を行っている。
- ・2年次から本学が実施しているボランティア活動に、自主的・積極的に参加するよう指導している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成28年6月末日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定(平成28年6月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・次回の認証評価は、平成31年度に評価機関の評価を受審予定。なお、前回の認証評価は、平成24年度に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受審し、適合認定を受けた。認定期間は、平成25年4月1日から平成32年3月31日までの7年間である。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成28年 6月 末日)

資料一覧

資料 1 関西外国語大学ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会規程